

外部評価

実施日 令和7年3月12日 11時15分～12時15分

武豊拠点にて 参加：管理者、土肥

評価者：監事：菊地遼

議題1：利用定員と施設スペースの関係について

武豊店は個別療育を提供しており、基本的に支援者1名・お子様1名・保護者1名で1部屋を使用している。

1人当たり3㎡が必要とされており、全体として30㎡以上確保されているため、定員10名の設定は問題ないと判断された。

議題2：職員の配置数について

人員配置については、Googleカレンダー等で勤務を管理しており、常勤換算2名以上を確保。

出勤簿との照合を行い、基準を満たすよう管理されている。

議題3：バリアフリー化の配慮について

身体障害児の利用は想定しておらず、階段手すり設置やスケジュール提示等による合理的配慮を実施。

発達障害を対象とした配慮として、構造化された支援環境の整備が行われている。

議題4：PDCAサイクルと職員の関与について

計画の立案からモニタリングまで職員全体で実施しており、半年ごとに振り返りを実施。

事業全体としても月次会議で振り返りと目標の共有が行われており、PDCAサイクルが機能している。

議題5：保護者アンケートの活用について

年1回アンケートを実施し、結果はホームページで公開。

保護者からの声をサービス改善に反映している。

議題6：外部評価と業務改善の連携について

今回のように外部評価を実施し、結果を業務改善に反映する体制が整っている。

議題7：研修の実施状況

感染症・災害時対応や虐待防止等の内部研修、外部研修、事例検討会を定期的を実施。動画視聴等による補完も行い、参加できなかった職員にも対応している。

議題 8：活動プログラムの立案と見直し

俯瞰図を用いて発達段階や取り組み状況を把握し、活動プログラムは固定化せず随時更新。支援はチームで検討し、スーパーバイズも活用している。

議題 9：個別支援の実践と連携体制

個別療育を主体としながら、法人内で集団支援との組み合わせも可能な体制を整備。支援計画はそれぞれの拠点で練り合わせて作成されている。

議題 10：ICT の活用と記録の管理

アイバック等のソフトを用いて支援記録を入力・分析し、グラフ化して共有・改善に活用。モニタリングも定期的を実施されている。

議題 11：関係機関との連携

サービス担当者会議や相談支援専門員との連携を通じて、情報共有を実施。学校との連携は拠点によって差があるが、必要時には連絡・情報交換を行っている。

議題 12：医療的ケアと対応体制

現在、医療的ケアを要する利用者はおらず、今後の対応については必要に応じて検討。対応はセンター等との連携が必要とされる。

議題 13：苦情受付体制と情報公開

苦情受付窓口を設置しており、契約時に案内を実施。現在ホームページには掲載しておらず、今後の改善点として挙げられた。

議題 14：地域との関係構築

地域作品展やフリーマーケットへの参加を通じて地域住民との交流を図っている。今後も地域との共生を意識した活動を継続予定。

議題 15：BCP と緊急時対応

BCP に関する研修を定期的を実施し、緊急時対応マニュアルの確認を各職員と共有済。入職 1 ヶ月以内に対応研修を実施。

議題 16：身体拘束・アレルギー対応

身体拘束は必要時に限り、保護者説明のうえ支援計画に反映。
アレルギー対応については契約時に申告・書類提出を受けて対応している。

議題 17：ヒヤリハット・インシデントの取扱い

ヒヤリハットがあった場合は報告書に記録・共有。
構造的課題については組織として改善を図る必要性を確認。
重大事故につながらないように、雰囲気づくりや共有体制の見直しも検討課題となった。

議題 18：モニタリングと計画見直しの実施状況

モニタリングは半年に 1 回実施しており、計画の見直しが必要と判断された場合には速やかに対応している。支援の質の向上を目的としており、職員間でも共有されている。

議題 19：ガイドラインに沿った支援の組み合わせ

生活・運動・社会性などの基本的活動を、発達段階や個々のニーズに応じて組み合わせて支援を提供。アイパック等のツールも活用して記録・管理されている。

議題 20：担当者会議への参加状況

必要なお子様に対して、支援会議（サービス担当者会議）に担当職員が参加。支援の方向性や課題共有を図っており、定期的な会議も設けられている。

議題 21：学校との情報共有・連携

飯田拠点では保育所訪問等を通じた連携が取られているが、武豊拠点では送迎がないため学校との接点は少ない。必要時には訪問や連絡対応を行っているが、継続的な情報共有体制の強化は今後の課題。

議題 22：医療的ケア児の受け入れについて

現在、医療的ケア児の利用はないため「いいえ」との回答。施設としての受け入れ体制は今後の検討課題。

議題 23：就学前施設との情報共有

飯田拠点の保育所訪問が主に該当。武豊拠点では、サービス担当者会議や事例検討会を通じて情報共有や相互理解に努めている。

議題 24：卒業後の支援内容引継ぎ

学校卒業後に移行する事業所等へ、支援内容等の情報提供を実施。これまでの支援経過や配慮事項を適切に共有している。

議題 25：発達支援センター等との連携

発達障害支援センターや専門機関と連携を図っており、必要に応じて助言や研修を受けている。部会等への参加も継続中。

議題 26：子ども家庭支援センター等との連携

現状、武豊拠点において子ども家庭支援センターや児童館との具体的な連携は少ない。児童館の機能や地域資源の活用については課題もあり、今後の検討対象。

議題 27：協議会等への参加

地域の放課後等デイサービス連絡会などに積極的に参加。部会長を務める職員もおり、他事業所との連携体制は良好。

議題 28：家族支援事業の実施

保護者向けの座談会やピアサポートの実施等、家族支援にも取り組んでいる。卒業後の関わりも継続的に行われている。

議題 29：地域住民との交流活動

地域作品展やフリーマーケットへの参加等を通じて、地域住民との交流を図っている。地域共生社会に向けた取り組みの一環とされている。

議題 30：利用料金等の丁寧な説明

契約時に代表から保護者へ丁寧な説明を実施。利用者負担等の説明責任を果たす体制が整えられている。

議題 31：苦情受付と対応体制

苦情は少ないが、受付窓口を設けており、個別に対応。記録・共有を徹底している。ホームページ上での案内は未対応のため、今後の改善事項とされた。

議題 32：広報の実施

定期的に情報を発信しており、連絡手段としては LINE などのツールを活用。保護者との連絡体制は整備されている。

議題 33：個人情報管理

個人情報保護に関するマニュアルを整備し、職員への徹底を図っている。

議題 34：意思疎通が困難な保護者への配慮

理解が難しい保護者に対しては、繰り返し説明を行い、丁寧な対応を実施。他機関との連携も併用して支援している。

議題 35：地域活動への参加

地域開催の作品展などに参加し、地域住民との接点を持つように努めている。

議題 36：BCP および緊急時対応訓練

BCP（業務継続計画）に基づく対応マニュアルを整備し、研修を定期的実施。入職1ヶ月以内に研修を実施する体制を確保。

議題 37：虐待防止研修の実施

虐待防止に関する研修を年に2～3回実施。新人職員には入職後1ヶ月以内に研修を実施している。

議題 38：身体拘束等の対応

必要に応じて保護者に説明し、支援計画に明記。対応が必要な場合は、やむを得ない措置として適切に記録・共有。

議題 39：アレルギー対応

契約時にアレルギー表を記入いただき、必要に応じて医師の診断書を確認。施設内での提供物は原則なし。

議題 40：ヒヤリハット・事故報告体制

ヒヤリハットが発生した際は報告書にて記録・共有。重大事故の予防として、小さな出来事も共有する雰囲気作りが重要とされ、構造的な問題がないかの検討も実施。